



八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報
(令和7年3月24日) 第36号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

令和6年度修了式学校長式辞

“充実した日々を過ごすとのたつのが早く感じるとよく聞きますが、そのとおり、令和6年度があっという間に終わってしまうような感覚の中にいます。

先日は、78名の3年生をこの学校から送り出しました。アグレッシブな生徒が多く、本当に元気な卒業生でした。毎年のことですが、あの卒業式以来、私は、3年生がいなくなってしまったという寂しい気持ちに襲われています。しかし、今度はここに居る2年生や1年生に大きな期待を寄せたいと思います。

令和7年度の八鹿青溪中学校を皆さんに託す前に、今年度を校訓とともに振り返ってみましょう。

まず「貫徹」です。私は、この1年間は毎日のラジオ体操を絶対に継続してやるという目標を立てました。今のところ、毎日欠かさずに続けることができている、なんとか「貫徹」できそうです。また、校報「八鹿青溪」を35回以上は発行したいと思っていましたが、先日の卒業式の際に第35号を発行し、これも思いを「貫徹」することができたかなと思っています。さて、皆さんのこの1年間を振り返って、「貫徹」したことはどんなことがありますか。少し考えた上で、隣近所の人と出合ってください。【交流】

次に「慎独」です。以前にも話しましたが、私は犬の散歩を毎朝午前4時台に行っています。近所の交差点を渡る時に、誰も見ていないし、車もぜんぜん走っていないので、赤信号でも渡ってしまいたい衝動に駆られるのですが、その時は「慎独」という言葉が頭に浮かび、信号が変わるまでじっと待つことを徹底しました。また、車を運転する時には、誰も見ていなくても、一時停止箇所では、落ち着いて車を止めて、ひと呼吸置き、左右を確認してから発進することを徹底しました。さて、皆さんのこの1年間を振り返って「慎独」を心がけたことを挙げてみてください。その後、同じく隣近所で出合ってください。【交流】

最後に「創造」です。「創造」とは自分の工夫で何かを作り上げるのですが、先ほども挙げた校報「八鹿青溪」は、その内容を自分なりの工夫に基づいて発行をしてきたつもりです。中尾教頭先生は、その完成した校報を1階の廊下に随時掲示してくれました。また、八鹿青溪中学校を紹介する学校ホームページについてですが、中尾教頭先生をはじめ各先生方と力を合わせて、内容充実のための工夫を続けました。その成果があったのかもしれませんが、年間の閲覧数が約18万件とな



り、多くの方に八鹿青溪中学校の生徒や先生の頑張りを知ってもらえたのかなと喜んでます。さて、皆さんがこの1年間で「創造」したことを挙げてみましょう。そして、その後隣近所でおし合しましょう。【交流】

さあ、令和6年度が終わり、また新しい後輩が八鹿青溪中学校に入ってきます。今日振り返った「貫徹」「慎独」「創造」の意味を皆さんの言葉で是非教えてあげてくれることをお願いして、今年度最終の式辞とします。良い1年間でした。”

令和7年3月24日 養父市立八鹿青溪中学校長 岩浅 克友希



令和6年度学校評価 ～学校HPをご覧ください～

令和6年度が終わります。1年間ありがとうございました。年度末にあたり、これまでの総括をした上で令和7年度をスタートさせなくてはなりません。八鹿青溪中学校では、12月に実施した保護者・生徒アンケートの結果を踏まえ、教職員による学校評価を1月に実施し、議論を深めました。さらに、2月13日(木)には第3回学校運営協議会を開催し、授業参観、アンケート結果の提示に加えて、1年間の教育活動について画像で紹介させていただき、委員の皆様による学校評価を依頼しました。そして、このたびその結果を「令和6年度学校評価」としてまとめましたのでご覧ください。学校HPに掲載しています。



令和6年度養父市スポーツ賞

八鹿青溪中野球部・関宮学園野球部の合同チームが令和5年度に引き続き、2年連続で令和6年度養父市スポーツ賞を受賞しました。昨夏の県大会における優勝に加えて、近畿大会3位、全国大会出場は養父市全体を大いに盛り上げました。また、八鹿青溪中学校2年生藤木健匠君もスキー競技で養父市スポーツ賞を受賞しました。県大会で優勝などの好成績を収めたことが評価されました。右の写真は、3月3日(月)の授賞式の様子であり、大林賢一市長より表彰を受けました。それにしても、八鹿青溪中学校の生徒たちがこのように表彰されることはたいへんな喜びです。今後も是非頑張ってもらいたいものです。野球部、そして藤木君、本当におめでとうございます。



卒業生、全員進路決定！

3月19日(水)、公立高等学校一般入試(学力検査)の合格発表があり、八鹿青溪中学校から受検した48名の受検生全員が合格を果たしました。これで、すでに公立推薦・私立入試等で進路を決定していた30名の生徒とともに、卒業生78名全員が進路を決定したことになります。

あらためて、“私たち八鹿青溪中学校の教職員にとって、大切な教員であった卒業生”のこれからの3年が素晴らしいものになることを心から祈念するとともに、在校生の今後の頑張りにも大いに期待します。2年生は1年後、そして1年生は2年後に同じように進路実現を果たすことができますように。



八鹿高校の合格発表に集まった人々

【お詫び】 前回保護者配付の校報第35号で、卒業式ご臨席の方のお名前を誤って「井上拓氏様」と表記してしまいましたが、正しくは「植木拓氏様」です。今号にて訂正してお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。